

★輝いています

● ヤール・クリステンセンさん



「好きなテレビ？ ウーン、『ミトコウモン』と『ビューティーコロシム』がオモシロイ」

今年4月から約1年間の予定で安城東高校に通う、デンマーク人留学生

「日本語は難しい・・・」。そんな言葉を口にしながらも、日本語での質問にはできるだけ日本語で答えようとしてくれる、デンマーク人留学生のヤール・クリステンセンさん。毎年、国際交流活動の一環として留学生を迎えている安城東高校に今年の4月から通っています。2年生のクラスメートと一緒に、ほとんどすべての教科を学んでおり、友達もたくさんできたそうです。

「アジアに興味があり、中でも大きくて安全な国だと聞いていたから」というのが留学先を日本に決めた理由。しかし、かもいに頭をぶついたり、お茶会での正座で足がしびれたり、当初は日本の文化や生活に慣れるのに苦労することもしばしば。ただ、書道はとても気に入っており、週に2日も教室に通っているため、かなり上達したそうです。



2月までの日本滞在中に行ってみたいのは「スキー。それと東京のような大きな街」。そして、母国に戻ってからの目標は「大学に進み、将来は医者かビジネスマンになりたい」と話してくれました。

野草歳時記

141



センダングサ

〔川棟草 キク科〕



葉の形が「ふたばより香ばしい」という川棟せんたんに似ているためにこの名がつけられました。

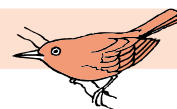
種子の先端がかぎ状になっており、衣服に付きやすく、毛糸のセーターなどに付いたら取り去るのに大変手間がかかります。もともとはほ乳動物や鳥類に付着していたものですが、その目的はもちろん種子を遠くへ運んでもらうためです。

近似種に北米産のアメリカセンダングサがあります。写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

安城の野鳥

164



黄色いくちばしで、下くちばしの先に赤い点があり、背中は灰色なのに、どうしてこんな名前がつけられてしまったのか不思議です。市内では、油ヶ淵で冬に1・2羽が見られますが、普通に見られるユリカモメの群れに入ったり、単独でいたりすることが多く、ユリカモメよりふたまわりほど大きなカモメなのですぐにわかります。

写真・文／杉山時雄氏
＜桜井町・西三河野鳥の会会員＞



セグロカモメ

—カモメ科—